

はじめに

本書はルートロン製パラディウムシェードの設置についてルートロンからトレーニングを受け、必要な装備を備えた取付業者のみを対象としています。ここでは、電子ドライユニット(EDU)を既存のシェードから取り外し、交換用シェードに当該EDUを取り付ける手順を説明します。

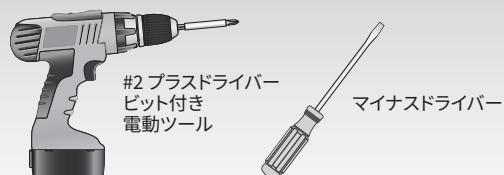
この作業をするためには、既存のシェードを取り付けブラケットから取り外すとともに、配線を切り離す必要があります。交換用シェードにEDUを取り付けたら、再度シェードを配線接続し、ブラケットに固定してください。その後、必要に応じて上下限位置を確認または調整します。

シェードの取り外しおよび再取り付けの詳細については、『パラディウムシェード本体取り付け&設定ガイド』をご参照ください。

構成部品



必要工具

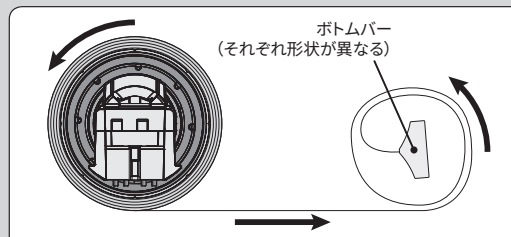


1 既存のシェードからEDUを取り外す

シェードチューブを露出させる

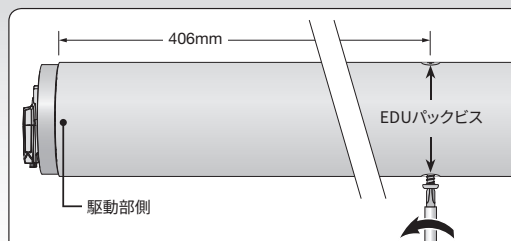
注記: シェードの幅が1,219mmより広い場合、以下の手順は2人で実施してください。

- ブラケットから既存のシェードを取り外し、生地を引き出してEDUを取り外すのに十分なスペースがある、清潔で平らな場所にシェードを置きます。
- シェードチューブから慎重に生地を引き出しながら、ボトムバーに緩く巻きます。シェードチューブが完全に見えるようになるまで続けます。



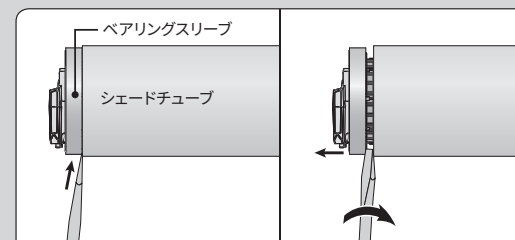
EDUを取り外す

- EDUパックビス:** 一部のシェードチューブには、下図のようにモーター側から406mmの位置にEDUパックビスが2個付いています。この部分にビスがあるシェードチューブの場合、ビスを取り外し、セクション2で再度取り付けられるように脇に置いておきます。ビスが付いていない場合は、そのまま手順Dに進みます。

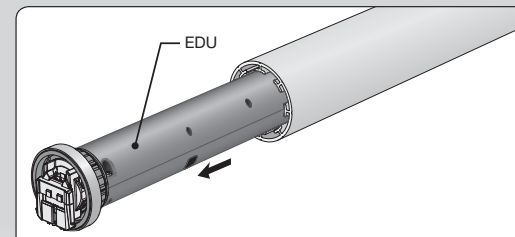


EDUを取り外す(続き)

- シェードチューブとEDUベアリングスリーブの間にマイナスドライバーの先を入れ、慎重にねじり、こじ開けて2つを分離させます。



- ベアリングスリーブをシェードチューブから外した状態で、EDUをチューブから完全に引き出します。



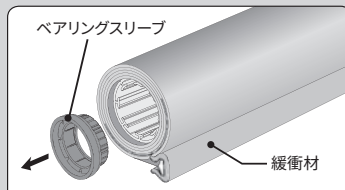
- 交換用ローラに取り付けるためにEDUを脇に置き、作業エリアにある元のシェード以外を片付け、次の手順のためのスペースを確保します。
- 次のページ記載のセクション2に進みます。

2 元のシェードのEDUを交換用シェードに取り付ける

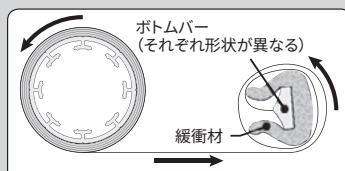
A. 交換用シェードを作業場所に置きます。

B. シェードチューブのモーター側から空のベアリングスリーブを取り外し、廃棄します。

ボトムバー用緩衝材は取り付けたまにしておきます。

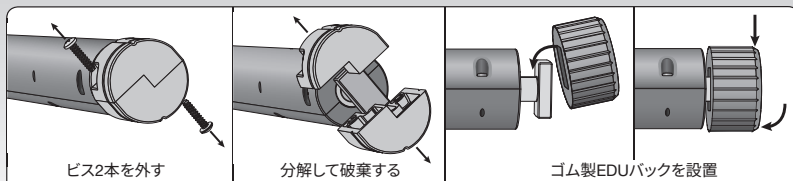
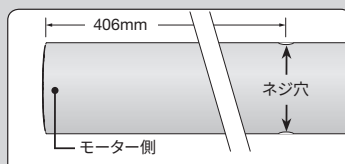


C. シェードチューブから慎重に生地を引き出しながら、ボトムバーに緩やかに巻きつけます。生地がしわになったり汚れたりしないように注意してください。シェードチューブの外側が完全に見えるまで続けます。

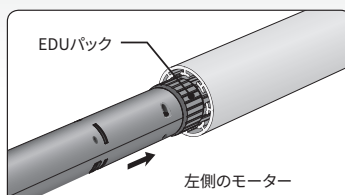


D. セクション1の手順CでEDUバックのビスを取り外した場合は、交換用シェードチューブのモーター側から406mmの位置にネジ穴があるかを確認します。交換用シェードチューブに穴がある場合は、そのまま手順Eに進みます。

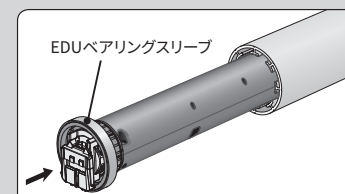
交換用シェードチューブに穴がない場合は、下の図に示すように、既存のEDUバックを交換用シェードキット付属のゴム製EDUバックと交換します。



E. EDUバックの溝をシェードチューブ内側のキー溝に合わせ、チューブ内にバックを挿入します。

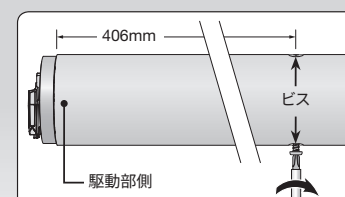


F. EDUをシェードチューブに押し込みます。EDUベアリングスリーブの溝をシェードチューブ内側のキー溝に合わせ、EDUベアリングスリーブがシェードチューブの端に直角に固定されるまで押し込みます。



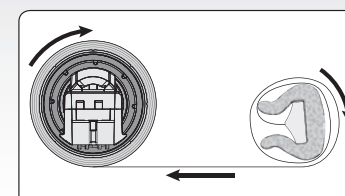
G. 手順DでEDUバックを交換した場合は、このまま手順Hに進みます。

EDUバックを交換していない場合(交換用シェードチューブにネジ穴がある場合)は、電動工具を使用して、セクション1の手順Cで取り外したEDUバックのビスを再度取り付けます。ビスは直接ねじ込まれるため、EDUバックに下穴を開ける必要はありません。ビスのヘッドが完全に固定されるように締め付けます。



H. 手順Cとは反対に、シェードチューブに巻いた生地をすべて巻き戻します。注意して生地をまっすぐに保ち、均等に巻きます。ボトムバー用緩衝材を取り外します。

これで交換用シェードを取り付ける準備ができました。

**3** 交換用シェードの取り付け

『パラディウムシェード本体取り付け&設定ガイド』のセクション3～6の該当する手順に従って、交換用シェードを元のブラケットに取り付けます。

注記: EDUは交換前の制御割り付けと上下限の設定のままですが、交換時のシェードの引き出しや巻き戻しでの変化により上下限の調整が必要になる場合があります。